

京都大学大学院教育学研究科
教育実践コラボレーション・センター企画
第66回 「知的コラボ」の会

大学教育を考える連続研究会 (3)

急激な社会の変化に伴い、大学教育の役割が問われ直されています。
京都大学でも、教育改革の議論が始まっています。そこで、本連続研究会では、大学教育
をめぐる研究的な知見を学びつつ、今後、求められる改革について考えます。

教育専任教員であるということ：
オーストラリアの経験から考える

オーストラリアをはじめ、各国で大学教員の仕事を教育、研究、管理運営といった役割ごとに分け、キャリアパスや支援制度の整備が進められています。これは、教育と研究の双方をおこなう大学教員という専門職のあり方を揺るがすものでもあります。そこで、本報告では、オーストラリアの事例から、いかにして教育専任教員を成立させているのか、という点について紹介します。その上で、日本において今後、教育専任教員という制度を導入すべきなのか、という点についてみなさんと議論したいと思います。

【日時】 2025 年7月25日(金) 13:30～15:00

【場所】 教育学部本館 第1会議室

【話題提供】 佐藤 万知 准教授（高等教育学コース）

- 対象：京都大学の教職員・学生、教職員の紹介者
- 参加希望の方は、下記のフォームからお申し込みください。※資料準備の都合上、事前申込をお願いします。締切：7月24日（木）

<https://forms.gle/EP3LMavwpeophNocA>

- お問い合わせ等は次のメールアドレスまでお知らせください。collabo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

